

「テレホン法話」1234話達成記念 1・2・3・4 GO

第16回

テレホン法話ライブ



法話 早坂 文明



ピアノ 伊藤 智哉



さわ
ー法話とピアノで茶話やかにー



ゲスト バイオリニスト 虎太郎



御詠歌 岡崎 るみ子

3分間心のティータイム

いつもは電話で聴いていただいている「テレホン法話」を本堂でお茶を飲みながら 生で聴いてみませんか
35年間も続けていると思いがけない出会いがあります
1234話というエンゼルナンバーに巡り合いました
1・2・3・4は物事の始まり 挑戦にふさわしい数字
ピアノ演奏にのせて 浮き浮きする仏の教えを語ります
特別ゲストは バイオリニストの虎太郎さん
弦(げん)の良い演奏は 心に響きます

法話

「立派な悪人」
「草鞋と刀」
「ランドセルと頭陀袋」
「老師の手」
「大きな笠の中」
「観音さまの写経」
「命の50分間」
「偶然を見逃さない」

10/30(日) 午後2時 徳本寺(山元町坂元) 入場無料

徳本寺テレホン法話 0223-38-1717 【問い合わせ】 0223-38-0320 徳本寺
<http://www.tokuhonji.jp/>

徳本寺では、電話で法話を聴くことができるテレホン法話を開設しております。35年間10日に1度(1日・11日・21日)話題を替えて休まず続けてきました。

呼吸をするように、顔を洗うように、ご飯を食べるように続けてきたテレホン法話です。何事もない無事な日常を願ってのことです。しかし現実には、良いことも悪いことも、自分に関りがあることも、ないことも、起きるのが世の中です。それらを見逃さないように、忘れないようにアンテナを常に立ててきたつもりです。

おかげさまで、千話という大台をとうに超えて、1234話を達成し、更に継続中です。1234話は我ながら、おもしろい数字だと自負しています。話の内容はともかく、その並びを見れば元気が出ます。1・2・3・4とくれば、GOと言いたくなります。いかにもどこかに向かう感じでしょう。この数字の並びは、エンゼル数字とも言うそうですが、何か幸運が待っているような気にさえなります。

そのテレホン法話を、電話ではなく直接本堂でお話するのが、テレホン法話ライブです。いくつかの特徴があります。

- ・話し手の顔が見えるので内容が伝わりやすい
- ・法話の背景や裏話など興味深い「本音トーク」が聴ける
- ・内容にふさわしいピアノ演奏が流れるので臨場感がある
- ・法話を補う映像や文言が映されるので理解しやすい
- ・法話に因んだ御詠歌のお唱えで仏の教えが心に沁みる

コロナ・ウクライナと閉塞感が漂う世間に、風穴を開けるほどの力はないにしても、少しはほっと一息ついていただけるテレホン法話ライブです。「3分間心のティータイム」と謳っているように、お茶の接待もあります。本堂という非日常の空間で、ゆったりとした気分でお過ごしください。

合 掌

徳本寺住職 早坂文明

【虎太郎(こたろう)プロフィール】

名取市在住、福岡県生まれ。幼年期は 福岡～鹿児島～札幌と転々。

バイオリンを土方恭之に師事。現在、宮城県内を中心に音楽のジャンルにこだわらず活動中。

趣味はバイオリンの他、大の釣りキチ。

「はがき一文字写経」

徳本寺の末寺である徳泉寺(笠野)は、大津波により伽藍・仏具等はすべて流出。

しかし、本尊さまだけは奇跡的に無事発見されました。

人々の支えになろうという一心で踏み止まった奇跡のご本尊を「一心本尊」と名付けました。

この本尊さまの下に、「はがき一文字写経」の納経(納経料:1口5千円)をお願いしております。写経された方には、無難無災をご祈祷した「一心本尊お守りカード」(金属製)を授与致します。また一文字は木札に印字され本堂内に奉納掲示されます。

NHKテレビ「ゆく年くる年」「ニュースウオッチ9」等で全国に紹介されました。

お申し込み:徳泉寺復興委員会 0223-38-0320

東日本大震災を語り継ぐテレホン法話集 3.11その先へ 3部作

第3集『千話一話』—テレホン法話千話記念—

1,000円

第2集『一歩先へ 二歩先へ』

1,000円

第1集『まっすぐに ただ、まっすぐに』

【完売】

10年間のテレホン法話ライブを紙上再現

『月を流さず』—和尚の語り草—

1,500円

徳泉寺復興誌

『青空があるじゃないか』

1,000円

【問い合わせ】 0223 - 38 - 0320 徳本寺